

科目名	使用教科書・副教材等	単位数	学科・学年
「実習」	自作テキスト	2単位	繊維科・第2学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	繊維に関する技術を実際の作業を通して総合的に習得させ、進化する工業技術に主体的に対応できる能力と態度を育てる。
---------	---

2 学習計画及び評価方法等

実習	学習内容	学習のねらい	提出物
①	1 デザイン実習 2 繊維製品のデザイン	・デザインの基本的な技法を学ぶ。 ・繊維製品のデザイン画の制作方法について学ぶ。	レポート 作品
②	1 CAD実習 2 CG実習	・JW-CADの基本的操作を習得する。 ・イラストレーターの基本操作を理解し、各種機能を習得する。	レポート 作成データ 画像データ
③	1 染色実習 2 工芸染色実習	・直接染料・反応染料による綿の染色および酸性染料による羊毛の染色について学ぶ。 ・絞り染めなどの模様染めについて学ぶ。	レポート 作品
④	1 織機のメカニズム 2 製織・縫製	・織物製造に必要な織機についてその原理を学ぶ。 ・織物を製造する作業を通して安全や品質について理解する。	レポート

※4つの実習項目を1年間でローテーションする。

3 評価規準及び評価方法

(1) 評価規準

	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	繊維の実習における基礎的な知識と技術を身につけ、繊維工業の発展と環境・資源などとの調和の取れたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技術を身に付けている。(①～④の学習内容についてそれぞれ指示される学習内容と学習のねらいに沿う評価基準とする。)	繊維技術に関する諸問題の適切な解決をめざして、広い視野からみずから思考し、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身に付けている。(①～④の学習内容についてそれぞれ指示される学習内容と学習のねらいに沿う評価基準とする。)	繊維技術について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身に付けている。(①～④の学習内容についてそれぞれ指示される学習内容と学習のねらいに沿う評価基準とする。)

(2) 評価方法

	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
方法	授業中に実施する課題や実習内容の精度等で総合的に評価する。(①～④の学習内容についてそれぞれ指示される学習のねらいなどの項目について評価する。)	適切な作業手順を考え、作業内容の良し悪しを判断できているのか、発表内容及びレポートや班別活動、プレゼン内容等で総合的に評価する。(①～④の学習内容などの項目について評価する。)	興味関心を持って自主的に取り組み、熱心に作業する態度を身に付けているのかを振り返りシートの内容や自己評価及び相互評価等で総合的に評価する。(1～4の学習内容などの項目について評価する。)

4 確かな学力を身に付けるためのアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> ・繊維工業の基礎的な実技を習得します。定期考査を行わないので出席に留意してください。 ・レポート、作品等の提出は、期限を厳守してください。 ・実習は班別に活動するので、班員と協力しながら取り組んでください。 ・安全に留意して作業を行い、実習機器の正しい取り扱いや活用方法を学習してください。
--